

## 授業改善等に関する報告書（2022 年前期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2022 (前期) 国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
仮名書法 1	伊藤 文生	受講生の自己評価および感想を見る限り、およそ以下のとおりで、相応の学修成果は得られたものと判断する。 「実践的な授業で仮名文字について理解を深められた」「異体仮名を書くときのポイントを理解できた。和紙についての理解が深まった」「資料を読み取る力が身についた。仮名文字の魅力や、その歴史を知ることができた」 「板書の字がとても綺麗でわかりやすかったです。また、毎回の授業内容やペースが自分に合っていて、毎時間とても楽しく授業を受けることができました。改善を希望する点はありません」。 今後は資料研究を深め、さらに改善に努めたい。
漢文学基礎講読 a	田中 靖彦	高い評価をいただきありがとうございます。苦手だった漢文が理解できるようになっていることに感動したというご意見もあり、大変うれしくおもいました。私の解説が早口だというご意見もいただきましたので、以後気を付けたいと思います。後期授業もなにとぞよろしくお願いいたします。
漢文学基礎講読 a	田中 靖彦	授業に対し大変高い評価をいただき、誠にありがとうございます。漢文に対する苦手意識を持っていたが楽しいと思えるようになった、というご感想もいただき、大変うれしく思いました。後期授業も何卒宜しくお願い致します。
漢文学基礎講読 a	田中 靖彦	授業に対し高い評価をいただき、ありがとうございます。漢文に対する興味がわいたというご意見や、苦手意識が薄れたというご意見もいただきまして、大変うれしく思います。後期授業もなにとぞよろしくお願いいたします。
近現代文学演習 1	棚田 輝嘉	回答ありがとうございます。 内容に関する満足度が、こちらの企図より低かったようです。 授業及び演習内容を見直して、より魅力的な内容になるようにして行こうと思えます。
近現代文学史 a	棚田 輝嘉	回答ありがとう。 成長の実感、満足度が低いようです。 文学史を単に記憶するものではなく、物語として理解してもらいたいというのが私の意図ですが、もっと面白い物語を、文学史の中に見いだすようにして行こうと思えます。
近世文学演習 1	佐藤 悟	後期はいよいよラストパートです。
近世文学基礎演習 1	近衛 典子	アンケートにお答えいただき、ありがとうございました。 少人数のため、当初の予定とは異なる進め方になってしまいましたが、相互の意見交換が活発にできたことは良かったと思っています。今後も近世という時代の文学を幅広く読んでいただきたいと思います。
近世文学史 a	近衛 典子	アンケートにお答えいただき、ありがとうございました。 顔の見えないオンデマンドでしたので、一方的な講義となってしまったのではないのでしょうか。今後はより双方向的な授業ができるよう工夫したいと思います。
古典文学基礎講読 a	池田 三枝子	授業が理解できなかったという回答がなく、9割以上の方が成長を実感できたと回答しているのは素晴らしいと思います。最初、まったく読めなかった変体仮名が4ヶ月で読めるようになったのですから、自信を持って人に誇れる学修成果です。
国語学演習 1	山田 里奈	本授業の目的は、①日本語学の発表資料の作成方法や日本語学の調査方法、考察の観点、参考文献の探し方や書き方を体験してもらうこと、②近世後期江戸語の資料に触れ、疑問に思った事象について論文を読み、考えを深めることでした。 発表資料やレポートを見ていると、①②ともに、みなさんそれぞれ達成できたのではないかと思います。 ただ、アンケート結果を見て、もっとmanabaを利用したり、相談する時間を持ったりすることで、意見の交換ができるようにできればよかったですかなと思いました。「意欲的に取り組めた」と思ってもらえるように工夫していこうと思えます。
国語学演習 1	福嶋 健伸	「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」の本授業の回答は、4.54であり、当該区分平均(4.38)と全体区分平均(4.34)を、上回っている。 「本授業はどの回も、自分と向き合う時間が設けてあるため、とても勉強になり似た。私たちに役立つ知識を常に持ち合わせ指導してくださるため、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。」等のように、コメントも、肯定的なコメントがほとんどである。 64名の国語学の演習、ということを考えれば、かなり良い授業を展開できているように思う。

[2022 (前期) 国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
国語学概論 a	山田 里奈	<p>本授業は、①日本語学の分野のうち、主に語彙と文法について学ぶこと、②授業を受けることで、身近な日本語に興味を持つこと、何か興味を持てる日本語の事象を見つけることを目的としていました。</p> <p>アンケートのコメントを見ると、受講生それぞれが日本語学の面白さを感じてくれたように思いました。日本語学という分野自体、初めて学ぶ内容だったと思いますが、よくついてきてくれていたと思います。</p> <p>アンケート結果から、スライドをめくるスピードが速かったり、書き込むスペースが狭かったりしたということがわかりました。気をつけていこうと思います。また、書き込む箇所はわかりやすく改善できたらと思います。</p> <p>1回の授業でおさまらず、次回に続きをとということが生じてしまったことがあります。1回の授業内でおさまる方が理解しやすいと思いますので、授業内容と授業時間とのバランスを改善していきたいと思います。</p>
国語学基礎演習 1	山田 里奈	<p>この授業では、主に①実際の狂言台本に触れ、発表を通して、室町時代の言葉を知ること、②日本語学の論文検索方法と参考文献の書き方や考察の観点を学ぶこと、この2つを目的としていました。</p> <p>みなさんの発表資料やレポートを見ると、みなさんそれぞれが達成できていたのではないかと思います。慣れない作業にしっかりとついてきてくれたと思います。</p> <p>アンケートの結果を見ると、授業のスピードと、理解できなかった回があったということで、改善していきたいと思いました。1回の授業で行なう発表者の数を調整したり、発表後の補足説明を工夫したりする等、1回1回の理解度を上げていけたらと思います。</p>
国語学研究 a	吉田 雅子	<p>アンケートへのご協力ありがとうございました。これからの授業運営の参考としたいと思います。皆さんも引き続き学修に努めてください。</p>
国語史 a	山田 里奈	<p>本授業では、日本語学のいくつかの分野を取り上げ、その歴史的変遷を学ぶことを目的としていました。</p> <p>アンケート結果やコメントを見ると、受講生それぞれが興味のある日本語学の分野を見つけてくれたように感じました。これは、期末のレポートを読んでも伝わってきました。少しでも面白さが伝わっていたら嬉しいです。興味を持った分野はさらに深めていってもらえたらと思います。</p> <p>反対に、「成長の実感ができなかった」を選択した人がいました。小テストや説明の工夫、manabaを使用して、意見交換できる機会を作る等、改善策を考えていきたいと思います。</p>
国文学概論 a	佐藤 悟	<p>後期はマイクの使い方に工夫をしましょう。</p>
国文学概論 a	舟見 一哉	<p>概ねよい反応であった。一方、国文学研究にとって重要な「二次創作」について誤解を与える発言と捉えた学生がいたことは反省しなければならない。身近な授業とするために用例を現代に取ったが、学生によってはそれが不快であることはアンケートではじめてわかった（講義中は笑い声があったが本心ではなかったのかもしれない）。</p>
国文学概論 a	棚田 輝嘉	<p>回答ありがとう。 フィードバック・資料等の提示方法などに問題があると分かりました。後期に向けて、より魅力的な教材の開発と提示に努めて行きたいと思ます。</p>
上代文学演習 1	池田 三枝子	<p>授業について「十分理解できた」「ほぼ理解できた」とする回答が9割で、それに伴い「成長を実感した」とする回答も9割だったのは喜ばしいことです。その反面、週あたりの予習復習が1時間未満とする回答が4割だったのには問題があります。これからは、討論を更に充実させるべく、他の人の発表へのコメントのための予習の仕方を明確にしたいと思います。</p>
上代文学史 a	池田 三枝子	<p>「自身の成長が実感できた」「専門的に学びたい」とする回答が8割以上だったのは喜ばしいことです。ただし、週あたりの事前事後学修が1時間未満の受講生が6割を越えていたので、各時間における課題の明確化が必要であるというのが反省点です。</p>
中古文学演習 1	舟見 一哉	<p>難しい課題だったが多くの学生が主体的に学べたことを喜びたい。一方で、発表に注力しすぎ、自分の発表が終わると意欲が失せた学生もいたので、レスポンスなどの積極的利用を、より進めたい。</p>
中古文学演習 1	菅原 郁子	<p>本授業の到達目標は、古典文学の具体的な研究文献の検索・収集の方法を知り、問題テーマを自ら発見できる力を身につけることであり、凡そ達成出来ていたと思います。後期はさらに自らの作品理解と考察を深める力を養い、平安時代の王朝文学・文化をより深く理解できるように指導したいと考えています。</p>

[2022 (前期) 国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
中古文学基礎演習 1	舟見 一哉	演習ながら説明を終始してしまい、そのために成長を実感できない学生がいたことを深く反省する。この演習によって中古文学を深く学ぶ気持ちがやや失せた学生がいることを知り、そのような学生にどうやれば意識をもってもらえるか、夏季休暇中に授業方法を再考したい。
中古文学研究 a	舟見 一哉	よい評価を得られたが、全員がアンケートに答えていない点は反省せねばならない。また、成長を実感する学生が少なかった点も反省点である。学生が主体的に考える時間をもう少し増やしたい。
中国文学演習 1	田中 靖彦	大変高い評価をいただきありがとうございます。「漢文への苦手意識が好きなのにな変わった」「授業が楽しかった」といったご意見もいただき、大変うれしく思います。後期授業もなにとぞよろしくお願いいたします。
中世文学演習 1	大橋 直義	皆さんの作成する報告レジュメの質は、たいへん良くできたものだと思います。その割には、皆さんの理解度に対する自己評価がやや低めなのが気になりました。これはもしかすると、自分たちの担当した箇所は、教員・他の学生さんとのディスカッションも含め、よく分かるけれども、そうではない箇所の理解度がやや低いのかもしいないと思いましたが（もしもそうでないなら後期の授業時に教えてください）。後期以後は、担当しなかった人も含め、皆さんがディスカッションについていけるような工夫をしたいと思えます。
中世文学基礎演習 1	大橋 直義	この授業は、2年生としては難易度の高い授業だと考えています（古文本を釈文するところからはじめ、読みくらべて、調べる）。この授業に最後まで取り組めた皆さんは、アンケートの通り、自分の成長を実感できたかが多かったのだらうと思います。
中世文学研究 a	大橋 直義	この授業では、いわゆる「日本文学」から遠く、皆さんにとってはおそらく馴染みの薄いテーマを扱うものですが、それでもかなり多くの方が興味を持って取り組んでくれたことがアンケートからも、またレポートからもよく分かりました。ただ、皆さんが調査をしているレポート課題と実際の授業の内容が別のテーマになってしまうことがひとつの難しさのポイントのようですので、次年度以降は改善をしていきたいと思えます。ありがとうございます。
特殊演習 1	佐藤 悟	後期はさらに理解を深めましょう。
特殊演習 1	山田 里奈	本授業は、卒業論文完成に向けて、研究計画や先行研究についての発表をすること、質疑応答を通して自身の研究内容について考えることを目的としていました。 みなさんそれぞれが、自分の研究課題を見つけ、卒業論文執筆に向けて取り組んでいたと思えます。 アンケート結果から、説明がわかりにくいことがあったということに気づかせてもらいました。manabaの利用をもっと工夫したり、授業内での説明をわかりやすくできるような改善していきたいと思えます。
特殊演習 1	山内 博之	グループワークを中心に据えてゼミを進めてきましたが、初めての試みだったので、それがよかったのかどうか、不安です…。 また、個人の自主性を大切にしようと思いつき、あまり強くプレッシャーをかけることはしなかったのですが、卒論の進捗には人によってかなり大きな差ができてしまったように思えます。 その点をどうするべきか、今後、考えていきたいです。
特殊演習 1	舟見 一哉	入力が7件と少ない点を深く反省する。今年度ゼミは、前年にくらべて意欲の高い学生が多く、その一方で、意欲のあまりない学生との乖離も目立つ。全体が一体となり取り組めるようになお方法を再考したい。
特殊演習 1	大橋 直義	少数選抜の卒論ゼミ、たいへんなことであろうかと思えます。 この調子で後期もがんばって、ぜひいいものを出してください。
特殊演習 1	棚田 輝嘉	回答ありがとう。 進むスピードについて評価が割れていますが、早い？遅い？どっちなのか、実は分かりません。それが問題なんだとは思いますが。 もし機会があれば教えてください。
特殊演習 1	池田 三枝子	回答数が少ないので難しいところではありますが、「意欲的に取り組んだ」と回答している方々が、いずれも「成長を実感できた」と回答しているのは、発表を伺っていて本当にその通りだと感じていました。長期研修のため3年次に卒論に関する指導が行えなかったにも関わらず、よく短期間で頑張ってくれたなと驚きつつ、喜ばしく感じています。

[2022 (前期) 国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
特殊演習 1	田中 靖彦	授業への高い評価、ありがとうございます。後期授業もなにとぞよろしくお願いたします。
特殊演習 1	福嶋 健伸	「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」の本授業の回答は、4.62であり、当該区分平均(4.38)と全体区分平均(4.34)を、上回っている。「自身が調査して論文を書きたいと思えるようなテーマを自分で考えることができるようになった。」等のコメントもあり、全体として、うまくいった授業である。
日本語の音声	山内 博之	言語学・日本語学の中で「音声」は最もとっつきにくい分野だと思います。しかも、その説明をすべて英語で行なっているのも、とても難易度の高い授業だったと思います。受講生のみなさんには、単位を取れたことに誇りを持ってもらいたいです。また、もし少しでも英語に対する抵抗感がなくなったのであれば、とてもうれしいです…。
日本語教育学演習 1	山内 博之	1限であるにもかかわらず、全体に出席がとてもよかったと思います。また、授業中も、熱心に課題に取り組んでもらえたと思います。また、レポートの内容も、全体にとってもよかったです。ただ、受講者数が多かったため、どうしても「学生からの発信」が少なくなってしまうがちでした。この点を、何とか工夫したいです。
日本語教育文法-初級-	山内 博之	対面ではなくオンデマンドだったので、みなさんの授業に取り組む姿勢があまりよくわかりませんでした。期末テストの点数を見ると、いい人から悪い人までばらつきがあったので、もっと興味深い資料を作って、受講生全員に、もっと熱心に授業に取り組んでもらえるようにしたいと感じました。
日本語文法論 a	福嶋 健伸	「人に説明する力が以前よりも身に付いたことがうれしかったです。」「日本語の文法について深掘し、生徒に「古典文法=面倒な物」とならないための教え方や考え方について学べて良かったです。」などの肯定的なコメントがほとんどであり、授業をうまく展開できたと考えている。
文学散歩プロジェクト	棚田 輝嘉	回答ありがとう。概ね良好な評価、ありがとうございます。演習した皆さんの、工夫に満ちた発表内容が、こうした評価に反映されているのだと思います。皆さんに、拍手！